

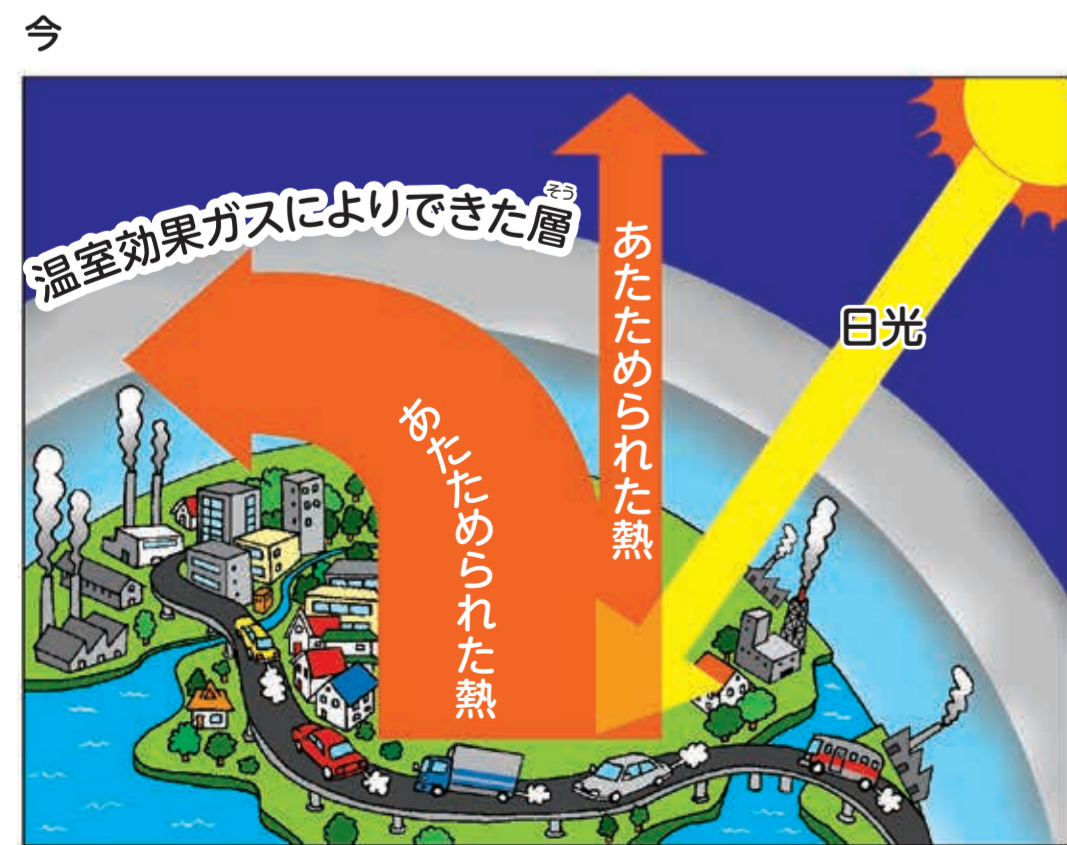
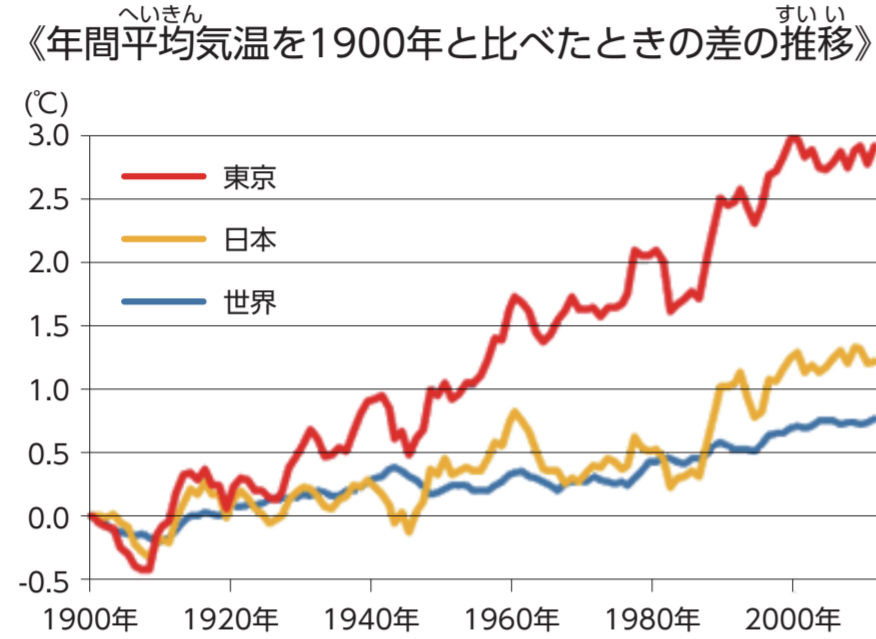
わたし 今、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。

かんきょう 環境問題について調べて、自分にできることを実行しましょう。

どうしたら止められる？ 地球温暖化

年間平均気温が高くなっている？

100年前と今で、世界の年間平均気温が高くなっています。世界全体では100年の間に約1℃年間平均気温が高くなっています。日本の年間平均気温は、世界に比べて上がり方が大きく、東京はさらに、日本の平均よりも大きく気温が上がっています。



地球の年間平均気温が高くなっている原因の一つに温室効果ガスが増えていることがあります。温室効果ガスは、物を動かすときなどに必要なエネルギー(石油や石炭などを利用して作ります。)を使うことで発生します。

エネルギーをたくさん使うことで、あたためられた熱が地球の外に出ようとするのを温室効果ガスの層がさまたげるので、地球に熱がこもってしまい、地球全体の気温が高くなってしまいます。これを「地球温暖化」といいます。

地球温暖化によるくらしや生きものへの影響を考えてみよう

食料の収穫量が減る



気温や降水量が変わるため、農産物の収穫量が減り、減ってしまいます。土の中の水分が減って干ばつが起こる地域も出てきます。

暮らしのための水が不足する



乾燥した地域をはじめ、多くの地域で生活のための水を得にくくなります。水河や山の雪が溶けてしまうため、これらの水で生活していた人々は大きな被害を受けます。

海面が上昇する



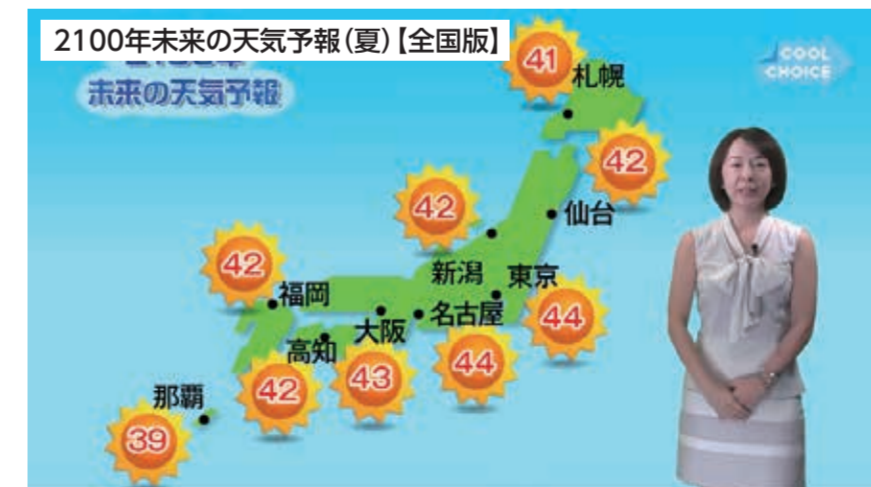
南極や北極の水が溶け、水温が上がって海水が膨張し、海面が高くなります。大河の河口地域、サンゴ礁の島、海拔の低い地域などが影響を受け、国土の大半が海に沈んでしまう国もあります。

多くの生きものが絶滅する



国連自然保護連合の「レッドリスト」によれば、地球温暖化などにより絶滅のおそれのある生きものは、1,750種以上に上るとわれています。

環境省が「2100年 未来の天気予報」を公開



「2100年 未来の天気予報」は、もし、温室効果ガスを減らす努力をしなかった場合、2100年、夏の日本各地の気温がどうなるかを予測したものです。

東京の最高気温は44℃、札幌は41℃で沖縄の那覇よりも高くなっています。また、最高気温が30℃を超える真夏日が、東京では年間104日(約3か月半)、札幌でも40日(1か月以上)になると予測されています。

※ 2018年、夏の東京の最高気温は40.8℃、札幌の最高気温は33.9℃、東京の真夏日は68日(2か月以上)、札幌の真夏日は8日でした。

動物や植物の絶滅スピードが速くなっています

地球上に生きものが生まれてから約35億年。その間にいろいろな生きものが生まれ、絶滅し、消え去っていきました。こうした変化はずっと続くものですが、1900年前半に、約1年に1種だった生きものの絶滅スピードは、今では約13分間に1種、1年間で約4万種が絶滅しています。

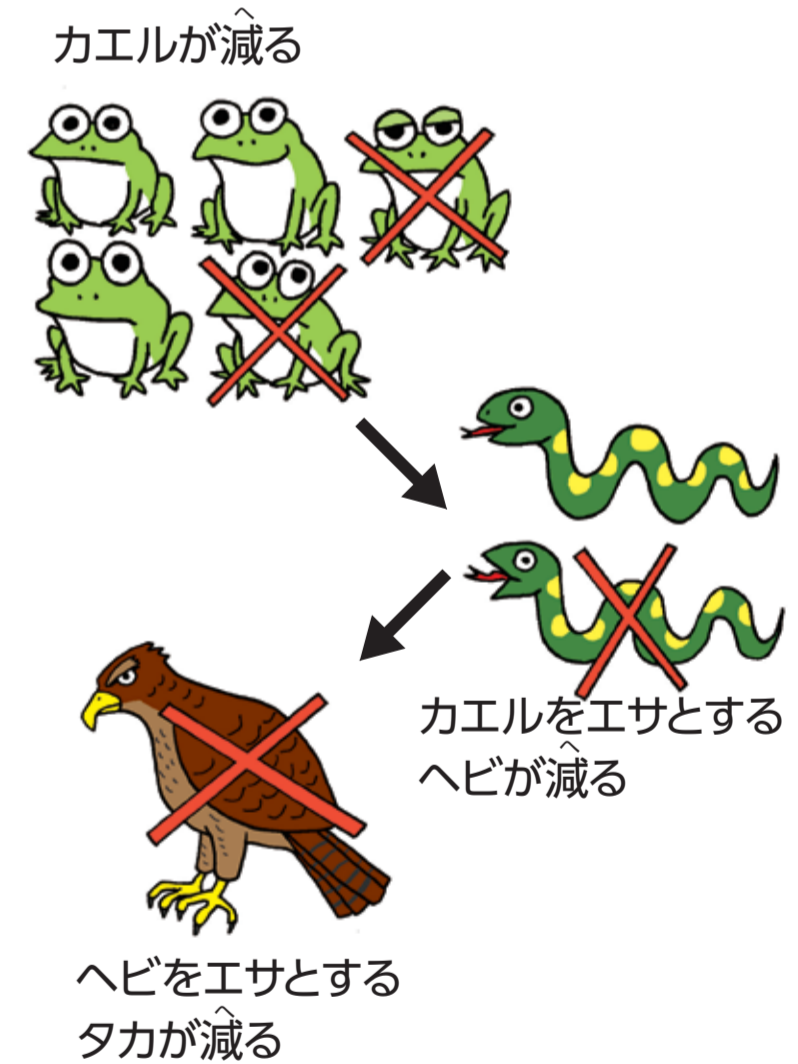
地球上から生きものが消える速度 (マイヤー「沈みゆく箱舟」より作成)

| 恐竜時代 | 約1000年に1種絶滅 |
|------------|-------------|
| 1600～1900年 | 約4年に1種絶滅 |
| 1900年代前半 | 約1年に1種絶滅 |
| 1975年ごろ | 約9時間に1種絶滅 |
| 1975～2000年 | 約13分間に1種絶滅 |

絶滅のドミノ倒し

一つの生きものが絶滅すると、その生きものの消滅だけではすみません。たとえばカエルが減ると、それを食べるヘビが減り、さらにヘビを食べるタカも減ってしまいます。

生きものたちは互いにつながっているため、ある生きものがいなくなれば、必ず他の生きものにも影響します。一つの絶滅が、ドミノ倒しのように他の絶滅を引き起こすこともあるのです。



だれ 誰もが、今もこれからも、幸せに暮らすためにできることをやってみよう

今、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。これまで学んだ自然エネルギーの利用や海ごみの対策なども、私たちの暮らしと深く関係していました。

これからも環境問題について調べて、自分にできることを実行しましょう。

